

日本科学哲学会編／横山輝雄責任編集

科学哲学の展開 2

2011年6月22日刊行

ダーウィンと 進化論の哲学

A 5判上製／320頁 ISBN 978-4-326-10178-8

定価 4,095円

執筆者：内井惣七・青木滋之・矢島壮平・横山輝雄・木島泰三・西脇与作・
森元良太・戸田山和久・松本俊吉・中尾央・田中泉吏・網谷祐一

科学哲学の現代的な展開の一つとして、現在大きな注目を集めている「生物学の哲学」。
代表的な論文12篇を厳選して収録し、日本における近年の研究の概観を示す。

序論 ダーウィンと進化論の哲学（横山輝雄）

A ダーウィンの哲学

形質分岐の原理——ダーウィンとウォレス（内井惣七）

19世紀イングランドの科学哲学

——自然選択説をめぐる（青木滋之）

ダーウィンとイギリス自然神学

——適応としての人間本性（矢島壮平）

「ダーウィン革命」とは何であったか（横山輝雄）

現代進化論と現代無神論

——デネットによる概観を軸に（木島泰三）

B 進化論の哲学

生命を自然的に捉える（西脇与作）

進化論の還元不可能性（森元良太）

「エボデボ革命」ほどの程度革命的なのか（戸田山和久）

進化生物学と適応主義（松本俊吉）

文化の進化可能性——心理メカニズムの観点から（中尾央）

生物経済学——もう一つの統合（田中泉吏）

頻度假説と進化からの論拠（網谷祐一）

本書は、前半に「A ダーウィンの哲学」として、ダーウィンその人についての論文と、ダーウィンがもたらした「革命」の意義、現在の思想状況におけるダーウィンについての論文計5編を収録する。後半「B 進化論の哲学」では、近年の「生物学の哲学」の展開をうけて、進化論をめぐる哲学的問題について、進化理論の論理的分析、人間や文化への適用をめぐる問題、経済学や心理学との関連を論じた論文計7編を収録した。（責任編集者）

好評発売中 科学哲学の展開 1

日本科学哲学会編／野本和幸責任編集 **分析哲学の誕生** 定価 4,095円

執筆者：石本新・野本和幸・横田榮一・飯田隆・土屋俊・佐藤雅彦・岡本賢吾・吉田夏彦・大出晃・戸田山和久・中川大・松阪陽一

日本における分析哲学100年の歴史のなかから、選りすぐりの傑作論文12編を精選。

分野の源流をなすフレーゲ・ラッセル哲学の真髄に迫る、画期的論文集。

(株)勁草書房

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL: 03-3815-5277 FAX: 03-3814-6968

<http://www.keisoshobo.co.jp>